

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 小学生向け消防団副読本の制作・配布及び副読本を活用した出前授業の実施

自治体名

島根県松江市

消防団名

松江市消防団

1 事業の目的・必要性

小学生向けに消防団を紹介する副読本を制作して、授業で活用してもらうことにより、消防団の認知度の向上、郷土愛の醸成とともに将来の消防団員の確保を図る。

2 事業内容

消防団員が、副読本をもとにした消防団員による出前授業を行うことにより、児童と関わる場を創出し、直接消防団員を交えることでより効果的なものとする。

出前講座に行くことができない学校の児童に対しても、学校の授業で活用してもらう。写真やキャラクターを多用し、小学生の視点に立った内容とした。

副読本の制作上で得た消防団の現状や改善点を消防団へフィードバックし、活動を改善する。

3 事業成果

市内の全小学3年生を対象に副読本を配布。(約1,800部)

令和3年度から実施している「消防団員による出前授業」は、市内全ての小学校で実施することが困難であるため、より広く浸透させるため副読本を制作し、出前授業で活用するとともに、出前授業を実施しない小学校では出前授業に代わるものとして社会科授業で活用してもらった。

配布後にアンケートを実施、学校から好評であり満足度や学習効果が高いものを制作できていることが分かった。また家庭において一定数読まれたことから保護者への認知度等も向上したと思われる。

二次元コードを掲載することにより、音や動作、団員の生の声など紙面では伝わらない内容を動画に収録した。二次元コードの利用が少なかったことから利用の周知を図る必要がある。

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
出前授業	校	10	9	
配布数	部	1,837	1,837	
参加団員数	人数	60	44	

5 その他参考情報

